

科目ナンバー： 研究・CNS：MC6071

授業コード： 6630600700

講義科目名称： がん治療看護介入演習 I

英文科目名称： Advanced Nursing intervention for cancer Patient I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択 がん看護CNS必修
担当教員			
◎石田和子、樺澤三奈子、横川史穂子、石岡幸恵、平原克己、東條律子、木原好則、船越和博、有波良成、桃井明仁、金子和弘			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎石田 和子	新潟県立看護大学	317	kazukoi@niigata-cn.ac.jp
	樺澤 三奈子	同上	317	minako-k@niigata-cn.ac.jp
	横川 史穂子	同上	204	yokokawa@niigata-cn.ac.jp
	石岡 幸恵	同上	301	ishioka@niigata-cn.ac.jp
	平原 克己	在宅緩和ケアクリニックきずな		
	東條 律子	同上		
	木原 好則	新潟県立中央病院		
	船越 和博	同上		
	有波 良成	同上		
	桃井 明仁	同上		
	金子 和弘	同上		
	【本学の科目区分】 専門分野			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】			
	研究			
	CNS	◎	○	○
	助産			

到達目標	がん患者・家族支援に必要な内容を総合的に判断し、ケアとキュアを融合し支援するための技術（治療を受ける患者の心と体を整える支援、各症状のマネジメント、せん妄や抑うつ等の臨床判断を含む緩和ケアなど）について学内や病院演習を通し、実施することができる。
------	---

授業概要	がん治療を受ける患者の心と体を整える支援、がん薬物療法における有害事象の症状マネジメント、疼痛、せん妄や抑うつに対する緩和ケア、緩和ケアチームのチームアプローチについて学内や病院演習を通して学修する。
------	--

授業計画	<p>1 授業内容          授業形態：演習          学修課題：治療を受ける患者の心と体を整える支援          学修内容：・がん薬物療法の投与管理（CVと静脈穿刺など）          事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。          事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。          備考：金子 石田</p> <p>2 授業内容          授業形態：演習          学修課題：治療を受ける患者の心と体を整える支援          学修内容：・がん薬物療法の投与管理（CVと静脈穿刺など）          事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。          事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。          備考：金子 石田</p> <p>3 授業内容          授業形態：演習          学修課題：治療を受ける患者の心と体を整える支援          学修内容：・看護師の支援（末梢血管確保・抗がん剤治療）          事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。          事後学修：・文献を活用して疑問の解決を図る。          備考：石田</p> <p>4 授業内容          授業形態：演習          学修課題：治療を受ける患者の心と体を整える支援          学修内容：・非侵襲的診断方法（甲状腺、乳腺、腹部エコーなど）          事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。</p>
------	---

5	<p>事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：木原 石田</p> <p>授業内容</p> <p>授業形態：演習 学修課題：治療を進める管理システム 学修内容：・組織・体制・教育・個人・曝露対策 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：石田</p>
6	<p>授業内容</p> <p>授業形態：演習 学修課題：症状マネジメント 治療有害事象 学修内容：・消化器症状：悪心・嘔吐 皮膚障害 皮膚漏出 咽頭炎 呼吸困難（判断と対処技術） ★がん薬物療法における有害事象の診方 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 有波 桃井 石田</p>
7	<p>授業内容</p> <p>授業形態：演習 学修課題：症状マネジメント 治療有害事象 学修内容：・消化器症状：悪心・嘔吐 皮膚障害 皮膚漏出 咽頭炎 呼吸困難（判断と対処技術） ★がん薬物療法における有害事象の診方 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 有波 桃井 石田</p>
8	<p>授業内容</p> <p>授業形態：演習 学修課題：症状マネジメント 治療有害事象 学修内容：・消化器症状：悪心・嘔吐 皮膚障害 皮膚漏出 咽頭炎 呼吸困難（判断と対処技術） ★がん薬物療法における有害事象の診方 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 有波 桃井 石田</p>
9	<p>授業内容</p> <p>授業形態：演習 学修課題：症状マネジメント 治療有害事象 学修内容：・消化器症状：悪心・嘔吐 皮膚障害 皮膚漏出 咽頭炎 呼吸困難（判断と対処技術） ★がん薬物療法における有害事象の診方 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 有波 桃井 石田</p>
10	<p>授業内容</p> <p>授業形態：演習 学修課題：症状マネジメント 治療有害事象 学修内容：・消化器症状：悪心・嘔吐 皮膚障害 皮膚漏出 咽頭炎 呼吸困難（判断と対処技術） ★がん薬物療法における有害事象の診方 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 有波 桃井 石田</p>
11	<p>授業内容</p> <p>授業形態：演習 学修課題：緩和ケア 学修内容：・緩和ケアにおける疼痛マネジメントと精神症状への対応 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：桃井 石田</p>
12	<p>授業内容</p> <p>授業形態：演習 学修課題：緩和ケア 学修内容：・緩和ケアにおける多職種チームアプローチ (緩和ケアカンファレンス・緩和ケアチーム) 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：桃井 石田</p>
13	<p>授業内容</p> <p>授業形態：演習 学修課題：緩和ケア 学修内容：・在宅緩和ケア 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：平原 東條 横川</p>

	<p>14</p> <p>授業内容            授業形態：演習            学修課題：緩和ケア            学修内容：病院演習の振り返り（緩和ケア）            事前学修：・疼痛マネジメントや精神症状等への対応に関する医師の診察・診断・治療の技術をふまえて、症状マネジメントにおけるアセスメントとケアについてレポートにまとめる。            事後学修：・ディスカッションをもとに、文献を活用して疑問の解決を図る。            備考：石田 樺澤 横川 石岡</p> <p>15</p> <p>授業内容            授業形態：演習            学修課題：支援技術の評価と展望            学修内容：・まとめ            事前学修：・抗がん剤治療における有害事象に関する医師の診察・診断・治療の技術をふまえて、症状マネジメントのアセスメントとケアを検討し、レポートにまとめる。            事後学修：・ディスカッションをもとに、文献を活用して疑問の解決を図る。            備考：石田 樺澤 横川 石岡</p>
事前・事後学習	授業計画参照
評価方法、評価基準	到達目標に対して、レポート 20%、プレゼンテーション 20%、判断能力 30%、技術 30%により総合的に評価する。
テキスト	最新の文献を使用するため、現時点では指定せず授業内で案内する。
参考図書・資料等	必要時提示する。
受講、課題、資料配布等のルール	詳細については演習要項を参照する。 まとめでは、指定課題についてプレゼンテーション資料を作成し、人数分の資料をコピーして配布する。
教員からのメッセージ	主体的な自己学修を期待する。
オフィスアワー	石田、樺澤、横川、石岡が窓口となり対応する。事前にメールで連絡する。